

令和4年(2022年)春綱会総会議事録

日時：令和4年(2022年)12月11日(日)午後2時7分～4時16分

場所：港区立生涯学習センター(ばる～ん)201学習室(港区新橋3-16-3)

－議事録記載内容については以下の通りとする－

報告者または発言者は[発言者]のように記載。山井先生、村岡先生以外の会員は名前の前に教室名を表示すると共に敬称を省略する事とする(例 [横・鈴木])。基本的に本文においても会員名は敬称を省略(例外もあり)。

報告内容、発言内容は直接話法ではなく基本的に要旨を記載。但し直接話法に近い表現で記載した箇所もあり。直接話法は「」で記載(但し要旨)。

－式次第に従い総会を開催－

1. 議長選出, 書記選出, 参加者・委任状確認 [東・高橋]

[東・高橋] 本日の参加会員 10 名、オンライン参加会員 3 名、欠席会員(委任状) 11 名。規定によれば会員の 1/3 以上の出席で総会は成立する事になっているので、現在の会員数を確認する必要がある。

[山井先生] 現在の会員数は東京 8 名、横浜 7 名、久良岐 5 名、富岡 6 名、計 26 名。

[東・高橋] 会員の 1/3 以上の出席により本総会は成立という事になる。

[東・高橋] 議長、書記の立候補なしのため、議長に富・高野、書記に横・鈴木を指名。

→参加者全員の賛同を受け、以下議長の進行によりすすめる事に。

－以下、議長により議事を進行－

2. 山井先生挨拶

- ・11月21日の葬儀に当たって、春綱会からの香典・供花および参列に対し御礼を述べられた。「父も一緒に稽古に参加していたことがあるので喜んでいるものと思います。ありがとうございました。」
- ・2023年2月12日の新年錬成会はほぼ全員が出席予定。午前は基礎的な稽古、昼の時間帯を利用して2023年3月18日の横浜能楽連盟五流交流のつどい参加者の稽古、午後は各自の謡・仕舞一番と教室対抗の仕舞。教室対抗は優劣を競うのではなく地謡を経験していただくという意味合い。
- ・夏または秋に2年に一度の発表会に代わる錬成会を予定。
- ・会員数が減少している。知り合いなどへの勧誘など会員増に向け協力いただきたい。
- ・金春流謡曲小謡独吟集のCD作成が無事完了。かかった費用の内50万円は春綱会、25

万円は後援会で負担。春綱会および後援会の会員には無料で配布。様々な理由で販売はしないが、希望される方には2,000円にてお譲りする予定。東京教室の毛利さんほか担当された方に感謝（総会参加者にはその場で配布）。

- ・免状を申し込まれた方には2月12日の練成会の場で授与式を行う（家元に代わり山井先生より授与）。

3. 議題

(1) 本年の活動報告 [東・高橋]

- ①新年錬成会：新型コロナで企画なし。
- ②横浜能楽連盟五流交流のつどい：3月12日実施予定であったが新型コロナの影響により中止。
- ③発表会：5月1日国立能楽堂本舞台にて実施。
- ④練成会：発表会があり企画なし。
- ⑤金春五星会：7月23日実施予定であったが新型コロナの影響により2023年1月に延期。
- ⑥横浜能楽連盟五流能楽大会：10月8日横浜能楽堂にて実施。
- ⑦山井綱雄之會手伝い：11月4日当日受付等対応。
- ⑧総会：本日開催

[山井先生] ⑤の金春五星会は国立能楽堂の本舞台で開催される。春綱会からは3名（横・安住、横・鈴木、富・門脇）。入場無料なので、よろしければ応援を。

(2) 来年の活動予定 [東・高橋]

- ①金春五星会：1月18日国立能楽堂本舞台で開催予定。
- ②新年錬成会：2月12日久良岐能舞台で実施予定。
- ③横浜能楽連盟五流交流のつどい：3月18日横浜能楽堂にて実施予定。仕舞4番、連吟。
- ④横浜能楽連盟総会：4月25日横浜能楽堂旧食堂で開催予定。
- ⑤練成会：[山井先生] 夏～秋に発表会に代わる物を実施予定。
- ⑥横浜能楽連盟五流能楽大会：10月14日横浜能楽堂にて実施予定。
- ⑦山井綱雄之會手伝い：[山井先生] 5月28日開催予定。当日の受付等お願いしたい。
- ⑧総会：12月開催予定。

－追加－

[山井先生] 金春五星会：8月27日国立能楽堂研修舞台で実施予定。

(3) 次期幹事選出 [東・高橋]

東京教室：総会の場で決定→毛利（サポート松永）

横浜教室：現幹事より報告→安住（サポート鈴木）

富岡教室：現幹事より報告→濱、初見

久良岐教室：次回の稽古の際に決定する（その後、玉本さんが引き続き幹事と決定）

(4) 本年の会計報告 [村岡先生]

収入：前年繰越（¥1,003,152）および会員の年会費等で計 ¥1,386,152

支出：¥910,321

例年と違うものは以下の通り。

発表会関連 ¥207,396

カクシンハン差し入れ ¥58,000

[山井先生] 本番は中止となったが、いろいろと対応してくれた人に差し入れした。

山井先生御尊父葬儀香典・供花 ¥46,500

CD（山井綱雄金春流謡曲小謡独吟集）制作 ¥500,000

翌年繰り越し：¥475,831

[村岡先生] 祝儀袋代の漏れ、総会会場代の間違いがあるので修正する。

[横・鈴木] 前々回の総会で、村岡先生のみ糸會にもお祝いを差し上げる事を提案して皆さんの賛同を得ている。その分¥30,000を支出に追加したい→全員の賛同を得た。

[横・鈴木] 本日の報告は12月11現在となっているが、この件も含めて漏れ・変更を反映して12月31日付けを正式版としたらいいのでは→全員の賛同を得た。

[村岡先生] 来年の年会費納入のお願いも添付しているのでよろしく願います。

(5) その他

以下の2件について提案があった。

① [東・棚橋] 後援会と春綱会で、山井綱雄之會などの山井先生の活動を支えている。

連携を密にするために春綱会の中に後援会との窓口を設けたらいいのではないか。いまは山井綱雄之會のお手伝ぐらいではあるが、他にも出てくる事もあるかもしれない。

[山井先生] 後援会の岡田会長からお話があり、2023年2月23日に後援会の会合を予定している。その際に春綱会からもお手伝いをお願いしたいと思っている。

→相談の結果、当面は棚橋さんに窓口をお願いする事で、棚橋さんにもご了解いただいた。

② [東・入沢] 総会終了後の忘年会は、今は有志だけで行っているが、錬成会後の懇親会と同じように忘年会・新年会も山井先生および村岡先生の費用を春綱会で負担したらどうか。→全員の賛同を得られたので、本日よりそのように取り扱う事となった。

4. 山井先生, 村岡先生の今後の公演予定

山井先生の公演予定

－資料の順とお話の順が違っているが、ここでは資料の順に記載－

- ①2023年1月4日 能楽キャラバン金春円満井会鹿児島公演 能「江口」シテ
- ②2023年1月15日 金春会定期能 能「恋重荷」シテ (ツレ山井綱大)
[山井先生] 来年は息子の綱大がいろいろなところでツレをやる事になっている。最近
は嫌がらなくなってきた。
- ③2023年2月18日 チェロ水谷川優子×能山井綱雄ライブ
- ④2023年2月18日 日本橋水戯庵文化メゾン Doyou 能?
- ⑤2023年5月8日～14日 イタリアにて能楽レクチャーデモンストレーション公演予定
－山井先生より、バチカン大使である後援会の岡田会長よりお話があったといういきさ
つなどの熱い思いについてお話があったが、書記の力不足によりうまく纏められな
かったため記載を省略。いろいろな機会に山井先生よりお話がある事と思います。
- ⑥2023年5月28日 山井綱雄之會 能「清経恋ノ音取」シテ (ツレ山井綱大)
[山井先生] 山井綱雄之會で村岡さんに能「道成寺」シテをやってもらう。金春流の女性
では38年ぶり。鐘入りの斜入は女性として初めて。応援 (チケット売れるように) よ
ろしくお願ひしたい。私としては鐘後見をはじめて行う。
- ⑦2023年6月20日・22日 国立能楽堂主催能楽鑑賞教室 能「羽衣」シテ
- ⑧2023年7月17日 座スクエア 能「巻絹 惣神楽」シテ (ツレ山井綱大)
- ⑨2023年11月4日 久良岐能舞台主催蠟燭能 曲未定シテ
- ⑩2023年6月下旬 シェイクスピア劇「タイタス」再演予定

村岡先生の公演予定

- ①2022年12月24日 み絲之會 能「紅葉狩 紅葉ノ舞 群鬼ノ伝」シテ
- ②2022年12月25日 善之会 舞囃子「鶉祭」シテ
- ③2023年2月5日 能楽プリズム～日仏2カ国語による古典芸能へのいざない～ 舞囃
子「班女」シテ
- ④2023年2月7日 円満井会仕舞の会 仕舞「三輪クセ」シテ
- ⑤2023年3月14日 青翔会 舞囃子「田村」シテ
- ⑥2023年5月28日 山井綱雄之會 能「道成寺」シテ
[村岡先生] 38年ぶりと言う事で責任を感じている。家元、山井先生の顔に泥を塗らな
いように、他の女性能楽師が後に続けるように頑張ろうと思っている。
- ⑦2024年1月27日 円満井会 能「箆」シテ

－休憩－

山井先生よりご挨拶

能楽協会の理事としての活動が 2 期目に入っている。能楽振興に向けての国への働きかけや能楽堂の維持、円満井会の会員減少、弟子の減少などへの対応など、能楽師としての個人的な活動以外にも能楽協会の理事としての活動も増えてきているので、皆さんにもご理解いただきたいと思っている。

5. 会長挨拶

- ・こうして集まって総会が無事出来た事はよかった。準備などご尽力いただいた方にお礼を申し上げたい。
- ・新型コロナの影響で、3年ほどは集まったの活動がなかなか出来なかった。稽古は個人毎だが集まったの活動も大事。来年は with コロナでやっていきたい。
- ・山井先生御尊父の件、最初の頃は練成会など一緒にやってきたこと、山井先生の事をいろいろとご心配されていた事などが思い出された。
- ・個人的な謡の稽古では、最近は謡本にいろいろ注意事項などの書き込みをしている。昔の謡本は書き込みがあまりない。山井先生の細かい指導をみると、きっと謡本に書かれているのだと思う。参考にして今後とも皆さんと稽古を続けていきたいと思っている。

－以上－

議事録作成担当：横・鈴木，東・高橋